

町議会報告

川西中学校」と命名

四月一日 統合を議決

本年度第三回目の臨時町議会は三月二十七日に招集された。この臨時会に提出された案件は、刈羽郡高柳町との組合立となつて...

まず六教室を建築

位置は補助申請前に決定

懸案の千手・上野両中学校統合問題については地元における話し合いの進展にもかかわらず、国の補助・起債に対する見通しが必ずしも樂觀をゆるさない状況で、...

申請に間に合うよう決定することを前提として、両校の統合を満場一致で議決した。続いて提案された統合中学校の名称については、町長提案の「川西中学校」に対して、「千手中学校」「川西第一中学校」等の案が提示されたが、結局圧倒的多数で「川西中学校」と決定した。

八百十万円である。なお最終的には十五教室と屋体で約六千万という予定であるが、本年度はとりあえず上野中学の全生徒を収容できるように六教室を建築することになったものである。これは、新校舎を建築しても生徒を収容しないか...

追加工五七十八万を議決

今回議決された一般会計追加更正予算は第五回目に当たり、差し引き追加額五百七十八万六千八百九十円である。才出の内訳は役場費の百九十六万を筆頭に、国鉄用地建物購入費と統合中学用地代の不取分を差し引きした財産費の百三十万、一時借入金利子として公債費の六十万、橋小学校建築特別会計への繰り出し金六十万等がおもなもので、そのほか消防費十一万、土木費二十万である。

追加工五七十八万を議決

七万等の事業費、公民館の映写機購入費二十五万等があるが、その他は給与改定による追加、事務費負担金等、不足額三十四万は準備金を充てて収支のバランスをとつてある。

財源は町税の自然増百三十五万、地方交付税百七十六万、財産収入として土地家屋(国鉄関係)売り払い代百九十万、その他で五百七十八万六千八百九十円。以上で、これまでの累計は一億...

戸籍の窓から

うぶ声 御すこやかに

- 須藤 聡 良平 長男 仁田
須藤 正浩 利一 長男 仁田
須藤 仁 正 二男 木落
清水 等 松二 長男 中屋敷
丸山 礼子 栄一 長女 高原田
丸山 八重子 善助 長女 高原田
丸山 美和子 和夫 長女 上町
坂間 浩美 利一 二女 伊友
水品 光代 保 三女 新町
丸山 アサ 喜徳 長女 下原
丸山 アサ 喜徳 長女 下原
江口 洋子 昭治 二女 小白倉
小林 敦子 正治 長女 中仙田

一千六十六万四千六百二十一円となつた。

なお国保特別会計の追加更正は総額九十一万七千五百六十円。才出は給与改定による人件費の増療養給付費、旅費、その他、財源は前年度繰越金である。

昇天 御めい福を祈る

この議会は、結局、学校問題にはじまって学校問題で終わる結果となつた。いずれも難航を繰り返して来た問題であるだけに、二つの問題が一挙に議決されたことは意義が深い。なお、新年度の予算は例年と同じようなやりかたで、二月十三日から各委員会で事前審査を行なつた。この結果、総額約一億五千万円で編成を急いでおり、本月十三日の定例町議会に上程される。中村町長から提案理由の説明が行なわれる。のち、議案整備のため二十一日まで休会にはいり、二十二・三の両日に再開審議して議決されるものと思われる。

昇天 御めい福を祈る

- 新郷 梶木 鶴吉 下平新田
新郷 金 れい子 宮城泉から
新郷 山岸 真治 霜条
新郷 羽鳥 幸江 真人町から
新郷 野沢 勇雄 野口
新郷 氏本せつ子 奈良原から

たかさご 御円満に

- 新郷 高橋 昭一 上町
新郷 下池 弘乃 鹿兒島から
新郷 佐藤 賢一 上町
新郷 井口 幸子 六日町から

町の青少年協から、若芽を伸ばそう(第三集)が発行された。青少年協がこの種の印刷物を配布する目的は「子どもの病氣と」いうことに世の親はずいぶん心配する。つまり身体病氣についてである。しかし精神的な病氣となつておさざりしがちで、不良化してからあつて、身体の病氣予防を考へるようになり、精神的病氣、いわゆる不良化の予防にも心しなくては「でありそんな意味をもつたパンフレットが、若芽を伸ばそう」だろ。このなかでふれてはいる少年犯罪は、昭和二十六年のピークから順次下降したが最近になってまた上昇の気味にある。しかもその質において暴力犯や性犯罪がめだつてある。その意味を考へるため十九世紀ごろ同じような現象のあつたヨーロッパのことを例にひいてみると、その原因として次の二つがあげられている。一つは、宗教社会がほろ壊れて家族がバラバラの気持ちをもつようになり、人間がひとりぼっちになつたことであり二つに、社会が技術の進歩につれて欲望とかシゲキの急増をきたして無統制の状況をまねいたからだという。今日の社会にあつてはまらないうるか、▲経済の成長や技術革新の恩恵がひろがること、青少年の非行という好ましくない関係が芽はえる。とすれば、町が平和郷であること、青少年が健全に育つこととはつねに美しいハーモニイであつてほしい。若芽を伸ばそう、ということばの起承転結はさまざまでもよい。(Z)

役場職員の勤務年数 十年以上のベテランが大半

経験を生かして町づくり

役場職員の勤務年数を調べてみた。九十八名の職員のうち、半数が十年以上のベテランであった。中には二十五年以上の実歴をもつ人もいた。石の上にも三年といわれ、十年を一番に数えて勤務したわけである。「長い経験を生かして働け」という中村町長の期待にこたえ、これからも町の建設にとりこんでいたきたい。特別職をふくめると十年以上とめた職員は次のとおりだった。

(勤務年数ではなくて勤務年数で算出した。退職してふたたび勤務した者や、特別職から書記になった者などは通算した)

◎二十五年以上 (一名)

内山 恵雄(上野支所)

◎二十三年以上 (二名)

小川 伊作(議事事務局)

高橋 友義(教育委員会)

◎二十一年以上 (二名)

山田 龜吉(橋支所)

山田 喜雄(橋支所)

◎二十年以上 (一名)

小川 政一(仙田支所)

◎十九年以上 (一名)

押木 利成(助役)

◎十八年以上 (一名)

平沢 徳松(国保衛生)

◎十七年以上 (一名)

北村文太郎(庶務)

◎十六年以上 (三名)

上村辰栄(庶務) 斎喜政良(仙田支所)

◎十五年以上 (四名)

野沢新一(橋支所) 金山良晃(社会)

守(国保衛生) 高橋良平(戸籍) 南雲

◎十四年以上 (八名)

中村杜吉(町長) 白井キヨ(上野支所)

数藤信善(戸籍) 根

星名憲二(国保衛生)

◎十一年以上 (七名)

押木仲治(仙田支所) 小林英一

(国保衛生) 沢口富士雄(農委)

須藤良平(戸籍) 押木良作

(国保衛生) 増田 享(出納)

押木秀治(庶務)

◎十年以上 (四名)

田口一朗(税務) 和久井 守(農委)

水品忠雄(税務) 富井

ヒサ(上野支所) 計四十八名。

このほか、九年以上四名、八年

以上五名、七年以上四名、六年以

上三名、五年以上二名、四年以上

一名、三年以上七名、三年以下二

十四名となっている。

斎木氏が退職

勤続十五年になんなんとした斎木三郎氏が、みんなに惜しまれながら二月いっばいで退職した。氏が仙田村役場に奉職したのは昭和二十一年の秋、以来、学事・庶務・配給・土木の各係を歴任、合併後も引きつづいて土木を担当し、あの強い個性で数々の仕事を

なしとげてくれた。役場人としてのかたわら、戦後いちはやく仙田村青年団の再建をなしとげ、第二代の団長をつとめた。また、仙田村婦人会を結成させたカゲの人でもあり、仙田に社会教育の根を植

えつけてくれた功績は大きかった。退職後は、東京都千代田区平河町にある田中彰治代議士の事務所

に勤めて、おもに土地・家屋などの仕事を担当するという。斎木氏はこの町を去るに当たって、「二度とふたたび、こんなにも温情ある土地で、マワタに包まれたような生活はできないだろう。これだけは決して忘れない。この年になつて新しい社会に生きることのき

びしさよりも、住みなれたふるさとを去るといふ実感が強い。とにかく一生懸命にやってみよう」と語っていた。

国保衛生だより

◎国民健康保険の制度が、四月一日から大きく変わることになっています。みなさんに直接関係がありますので係が部ごとに参上し、目下、説明会を開催中であり

ます。各世帯からひとり、指定の日時に必ず集まってください。当日は異動事項も伺います。認印と被保険者証を、社会保険に加入して

いる方は社会保険証を持参してください。やむを得ず出席できない方は次の会場へ行くか、または

代理人に依頼してください。日程は回覧でお知らせしてあります。

◎三十六年度の、腸バラチフスの予防注射がはじまります。これは予防接種法によって行なうもの

で、満四才から六十才までの方は毎年一回、また、満三才から四才までの方は初回免疫といって三回注射をします。病気が妊婦でないかぎり必ず受けてください。どうしてもできない方は、理由書を推進委員に届けてください。仙田地区は、初回免疫にかぎり雪が消えてから実施いたします。

町の掲示板

十五日?に雪割り

町と眞のブルドーザー二台と、十日町運送・丸山工務所・十日町砂利合資会社のダンブカー三台で、大がかりな雪割りを行なう。上野十日町間は二十日までに諸車を通す予定。仙田線は橋の工事もある。四月十日前後に、上野・橋間もそのころ実施したいとのこと。

囑託員さま

◎小脇 齊木謙輔 ◎霧谷 佐藤 啓治

ラジオ農業学校

十五日と二十五日の二回、農業センターで一年間の研修をかえりみる。四月から二年生に進級し、中学卒業者が一年生にはいる。

身障者の補装具修理

身体障害者(戦傷病者)をふくむで、ことし補装具の交付や修理を希望する人は、十五日までに社会係(南雲直秀)へどうぞ。

養トンを振興

四月から、全町をもうらした養トンを振興協議会が発足する。ことはとのあえず、種トンを導入して増肉をはかるという。このため町が三十万円を助成し、飼育者には各農協が低利資金を融資する。



かわにし 俳壇

田中 半蔵 一風
雪ふすまよりの日射しの機窓に
雪壁に傾いてきし日射しかな
雪壁に棒つきさして物干せる

越ヶ沢 小川 辰治
背負いたる時計鳴りつゝ雪の道
鶏の紅きとさかに春日渡し

学校町 高崎 正風
雨桶の中へびつり水柱かな
大根増吹き出る焙右左

発籠区 大久保恵風
床屋の灯ゆつくりまわり牡丹雪
小国町 小川 黄梅

早春のいつもこの崖土こぼれ
元町 金子 鉄平

春の白やびんと乾きし白きもの

◎事業計画や予算・学級別講座などで、ついソワソワと編集した本紙でした。「もっと余裕がほしい。」ほんとにそう思います。

◎本号を最後に、本年度の発行が終わったわけです。予算がちよとどギリギリで、四ペー

シにとどめました。

◎もうすぐ卒業式、実社会に巣立つ青少年をあたたくむかえてあげましょう。夢や希望を失わ

せてはいけません。

◎照るにつけ曇るにつけて、これからはナタリの多い季節です。気を付けてください。

◎この雪が、あとかたもなく消える日が近づいてきました。かほそく降る雨、川西の里にも春の

けはいが感ぜられます。

◎この雪が、あとかたもなく消える日が近づいてきました。かほそく降る雨、川西の里にも春の

けはいが感ぜられます。

◎この雪が、あとかたもなく消える日が近づいてきました。かほそく降る雨、川西の里にも春の

けはいが感ぜられます。

けはいが感ぜられます。

社会教育の基本方針

川西町教育委員会

一、人格の完成をめざし、平和な町の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ

自主的な精神に満ちた人づくりにつとめる。

二、住民の教養をふかめ、情操をたかめ、協力・互愛の精神を養い、産業と生活文化の振興をはかり、健康で明るい、豊かな町づくりの気風と資質をつくる。

三、住民の自発的な教育意欲を醸成するとともに、社会教育的な環境を整備し、学習の機会を提供し、実生活の中にあつてこの方針を推進するためのリーダーを養成する。